



森下漁労長(左)と松本町長(右)

「近海カツオ一本釣り」日本一位の第88佐賀明神丸を町が表彰

第88佐賀明神丸が昨年の漁期において、近海カツオ一本釣りの水揚げ額日本一位を達成したことを受け、町の水産振興に貢献したとして2月2日(水)、町から表彰状および記念品が送られました。

松本敏郎町長は、「明神水産としては10年連続の一位であり、町としても誇りに思う。今後とも体調に気を付けながら頑張っていたいただきたい」と話しました。

同船の森下靖漁労長は、「一位になれて嬉しかった。昨年のカツオは大きくて味も良かったが、コロナ禍で値が下がることもあった。今年も引き続きコロナ禍ということで不安はあるが、また一番になれるように努力したい」と話しました。

「地域の見守り活動に関する協定」締結

2月15日(火)、町とヤマト運輸株式会社、支援の必要な方が孤立することを防止し、日常生活における問題を早期に発見することで、住み慣れた地域で安心して生活を続けられるようにすることを目的に、「地域の見守り活動に関する協定」の締結式を行いました。

松本敏郎町長は、「同社は町内のあらゆる場で日々活躍されており、町民の安全確認に頼もしい存在である。正式に協定を結んだことでさらに頼れる存在になっていただけで嬉しい」と話しました。

また、同社高知主管支店松崎繁支店長は、「これまで、町内で集配するなかで異変に気付いても行動に起こすことを躊躇してしまうことがあった。今回の協定締結で、ドライバーも安心して集配できるようになると思う。地域と連携してしっかりと見守っていききたい」と話しました。



松本町長(左)と松崎支店長(右)

佐賀地域の小学校で食育活動

町農業委員会が主催する食育活動の一環として、食べ物を大事にする気持ちや地元で収穫できる食材を知り、食文化の理解を深めることなどを目的に、佐賀地域の小学校3校で調理実習が行われました。

2月14日(月)の拳ノ川小学校の回では、同小児童や農業委員、関係者ら約30人で長さ12m90cmの長巻寿司やサラダなどを調理しました。

参加した同小6年生の藤本銀慈さんは、「大変だったけど、みんなで協力して巻けて楽しかった。小学校生活の一番の思い出になった」と話し、同小2年生の宮崎渚さんは、「去年はコロナで行事がほとんどできなかった。今日初めて長巻寿司を作って、最初は上手く巻けるか不安だったけど、長い巻き寿司ができてすごいと思った」と話しました。



寿司を巻く児童ら

大方高校が入野小学校児童に防災出前授業

1月18日(火)、大方高校地域創造コースの2年生13名が入野小学校5年生16名に対し、防災をテーマにした出前授業を行いました。

同授業は、日ごろから防災を一緒に行うことでつながりを持ち、何のために防災をしなければならぬのかを考え、防災を意識してもらおうことを目的として行われました。

小学生は、「未来へのメモワール」についての説明を聞いた後、自分が未来に残したいもの、大事にしたいものについて考えました。

授業を行った大方高校の吉尾誠哉さんは、「緊張したけど、自分たちが考えそうにないことをたくさん考えてくれたので、授業がしやすかった」と話し、参加した入野小学校の古館里奈さんは、「初めてメモワールを考えた。高校生の皆さんが詳しく教えてくれたので、しやすかった」と話しました。



授業の様子

野小学校の古館里奈さんは、「初めてメモワールを考えた。高校生の皆さんが詳しく教えてくれたので、しやすかった」と話しました。